



# 進路だより

R2.12.16  
第2学年 9号  
安古市高校進路指導部

2学期期末考査も終わり、3年0学期がスタートして一週間が経過した。受験生としての自覚を持って、生活・学習ができているだろうか。

中間考査が終わってから、2学年では段階的に「受験生への切り替え」に取り組んできた。冬休みを前にその取り組みを振り返り、自分の「切り替え度」を整理してみよう。

## 1 【学年集会 10/14 (水)】

7限に学年集会を設け、進路実現に向けての講演を行った。「受験生になる」ために必要な「コンスタントな学習(量)」「戦略的な学習(質)」について把握し、今後何をすべきかについて確認した。今も、朝学習を取り入れながら学習時間を確保し、教科バランスに注意して学習できているだろうか？

## 2 【受験生スタートプラン 10/21 (水)】



「進路だより7号《受験生切り替え号》」で戦略的な学習の必要性を確認し、この内容を日課表に落とし込んだ「受験生スタートプラン」(左表)を各自作成した。

プランは実行できているだろうか。実現が難しい場合はその原因を明らかにし、場合によっては適宜修正をかけて、実効性の高いプランにブラッシュアップ(改善)していくことが大切だ。

## 3 【進路講演会(北九州予備校 大山先生) 11/18 (水)】

11月18日(水)5・6限に、北九州予備校の大山純治先生による講演会が催された。「志望大学合格のためにやって良いことダメなこと」という視点で、本当の受験生になるために必要なことを話していただいた。

「投資する価値のある大学を選ぶ」「学校中心」「自学自習」「勉強するときの姿勢が大切」「集中して繰り返す」など、印象に残る話を数多く聞くことが出来た。講演後の感想を見ると、「今のままでは落ちると思った」「志望校を考えないといけない」という言葉が、数多く書かれていた。本気で変えようと思えば、必ず変えることができる。自分自身に負けることなく、妥協せずに頑張っていこう。

★講演会で学んだことを生かして、自分が今実行していることを具体的に書いてみよう。

#### 4 【冬休み計画表 12/7 (水)】

1/23	1月進研記述模試	ブレ冬休みの学習は計画通り進んでいるだろう
1/24	英検(1次)	うか。1月に入ると左のとおり、模試等が続く。
1/30	ハイレベル模試(希望者)	そこで成果を出す秘訣は、『課題テストで高得点
2/ 1	共通テストチャレンジ	を挙げること＝学校の教材を繰り返し学習する
2/ 6	進研共通テスト模試	こと』&『これまでの模試の「解き直し」』だ。
2/ 7	小論文模試	

#### 5 【志望理由書 11/11・12/9 (水)】

「志望校を決めること」も受験生のスタート。ただし、決まっていない人も焦らずに、自分で大学について調べたり、自分から先生に相談したりすることが大切だ。

また、志望校のアドミッション・ポリシーを読み、生活面や考え方も切り替えていくことが求められる。「志望理由書」は、担任や学年主任の先生への実質的な「受験生宣言」となる。冬の三者懇談会では、保護者の方も交えて志望校群を設定していけるよう準備しておこう。

#### 6 【国公立大学2次試験の問題を解く 12/16 (水)】

「彼を知り己を知れば百戦危うからず」という孫子の言葉がある。大学に合格しようと思えば、相手、つまり「入試問題」を知らねばならない。そこで、国公立大学2次試験の問題(一例として広島大学)を見てみよう。

もちろん今すべて解ける必要はない。しかし、合格するには、1年2ヶ月後に約6割得点する必要がある。現時点でどれくらい得点できたか、己を知る、つまり今の自分と1年後の自分(目標)にはどれくらい差があるかを知らなければならない。冬休みには各自の志望校の過去問にも目を通しておこう。

最後に… 自分の受験生切り替え度( )% その理由は?